※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　情報

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	東書 702 「情報Ⅰ　Step Forward!」　東京書籍						
副教材等	「ニューステップアップ情報Ⅰ」　東京書籍						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学習内容を日々の生活の中で確認し、情報科学についての基本的な見方・考え方を着実に身につけていくようにしましょう。日々の生活の中で、溢れる情報の中から主体的に取捨選択を行い、より良い生活につなげることができる力と論理的思考（プログラミング思考）を身に着けてください。

2　学習の到達目標

・情報に関する科学的な見方・考え方・知識を身に着け、情報社会に対応できる能力を養う。
・情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて適切に判断できるようにする。
・情報社会に主体的に参画するため、進んで学習に取り組み、自らの改善に取り組もうとする姿勢を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	情報社会	・情報、メディアの特性 ・問題解決 ・情報の収集と分析 ・知的財産 ・個人情報 ・情報セキュリティ、モラル ・情報技術の進歩・	a: 情報、メディア、知的財産および個人情報の内容を理解している b: 情報社会においてどのように行動すればよいか考えることができている c: より良い情報社会を築くため、社会の一員として参画しようとしている	・小テスト ・ワークシート ・定期考査	・パフォーマンス課題 ・定期考査	・振り返りシート ・パフォーマンス課題
一学期 二学期	情報デザイン	・情報のデジタル化 ・二進法の計算 ・文字、音、画像のデジタル表現 ・データの圧縮 ・メディアの発展 ・情報デザイン ・ユニバーサルデザイン ・コンテンツ設計	a: 情報のデジタル化の方法を理解している b: 問題解決をするために「誰に」「何を」「どのように」取り組んだらよいかをデザイン思考の流れで考えることができている c: 学校の Web サイトの階層構造を調べ, 気づいたことをもとに, Web サイトの改善点を考えようとしている	・小テスト ・ワークシート ・定期考査	・パフォーマンス課題 ・定期考査	・振り返りシート ・パフォーマンス課題
二学期	プログラミング	・ソフトウエア ・論理回路 ・アルゴリズムの表現 ・プログラムの仕組み ・問題のモデル化 ・シミュレーション・	a: アルゴリズム表現、プログラムの構造を理解している b: 問題解決のための適切なプログラムを設計することができている c: 実際の問題を解決するためにモデル化とシミュレーションを活用しようとしている	・小テスト ・ワークシート ・定期考査	・パフォーマンス課題 ・定期考査	・振り返りシート ・パフォーマンス課題
三学期	ネットワークの活用	・情報通信ネットワーク ・インターネットの利用 ・情報システム ・データ活用とデータベース ・データ管理と収集、分析	a: インターネット上のサービスの仕組み、データベースの構造を理解している b: インターネットを活用し、データベースを用いて分析をすることができている c: データモデルに興味を持ち, 身近な問題に活用しようとしている	・小テスト ・ワークシート ・定期考査	・パフォーマンス課題 ・定期考査	・振り返りシート ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度